



## シラバス参照

タイトル「2020年度シラバスー1年生(N/E/S)」、フォルダ「共通科目 (N/E/S) -社会に生きる」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

科目名	多様性と倫理		
担当教員名	<a href="#">安達 宏之</a>		
ナンバリング	NEd1024		
学科	共通科目 (N/E/S) -社会に生きる		
学年	1年	クラス	1Aクラス
開講期	前期	必修・選択の別	
授業形態	講義	単位数	
資格関係			
実務経験の有無	無し		
実務経験および科目との関連性	無し		
ねらい ①科目の性格 ②科目の概要 ③授業の方法 (ALを含む) ④到達目標 ⑤ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>①科目の性格 「生物多様性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、多様性と倫理について考えていく。 (学部学位授与方針 1、2、3に該当する)</p> <p>②科目の概要 前半は、生物多様性を中心とした環境問題の現状や国際社会の動向、個別事例を通して、生物多様性の現状を学ぶ。 後半は、前半から抽出できる倫理を紹介するとともに、生物多様性をめぐる法の考え方を取り上げ、保全すべき生物多様性とは何かを学ぶ。</p> <p>③授業の方法 (ALを含む) 教科書を使用した講義と、生物や自然、環境問題に関する画像や映像を提示した講義から成る。また、具体的な課題を提起して質疑応答を織り交ぜ、学びを深めていく。</p> <p>④到達目標 「生物多様性」やその保全の在り方について具体像を描けるきっかけを得るとともに、「生物多様性の保全」、「生態系の中の人」、「多様性と倫理」について理解する。</p> <p>⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 この科目は、大学のディプロマ・ポリシーの以下の資質・能力を育成することを目的とする。 ⑥-1グローバルマインド、⑥-2未来を創造する力</p>		
内容	<p>1 「多様性と倫理」を考える 2 「生物多様性」とは何か 3 日本社会の現状とグローバル化 [共通テーマ] 4 持続可能な社会のための課題と取り組み [共通テーマ] 5 企業と環境 6 企業と生物多様性 7 企業と環境 ー各企業の取り組みと課題 8 企業と生物多様性① ー各企業の取り組みと課題 9 海の生物多様性と倫理、社会① ー東京湾三番瀬の自然と開発 10 海の生物多様性と倫理、社会② ー自然再生と市民参加の課題 11 人と生物多様性① ー生命倫理、環境倫理を考える 12 人と生物多様性② ー一人にとって保全すべき生物多様性とは 13 法と生物多様性① ー一人権と「自然の権利」、「動物の権利」 14 法と生物多様性② ー環境法の進展と課題 15 まとめ ー生物多様性の保全とは何か</p>		
各授業回における授業外学習の内容・所要時間	<p>【事前予習】授業中に告げられる次回授業のテーマについて、インターネット等により情報を収集し、論点を確認する (各回60分)。 【事後学修】今回授業で学んだことを確認し、当該テーマの論点を再確認し、自らの見解をまとめる (各回60分)。</p>		
評価方法および評価の基準	授業への参加度30% (毎回の講義において質問をしますので積極的に議論に参加する)、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とする。		

